

担い手確保を果敢に

建コン九州ら5団体

建設コンサルタント協会九州支部（田中清支部長）、福岡県測量設計コンサルタント協会（福澤一博会長）、福岡県地質調査業協会（香月裕宣理事長）、日本補償コンサルタント協会九州支部（白石陽一支部長）、全国上下水道コンサルタント協会九州支部（松尾慎泰支部長）の5団体共催による2025年新年賀詞交歓会が10日、福岡市のANAクラウンプラザホ



テル福岡で開かれた。

5団体を代表してあいさつした福岡県地質調査業協会の香月理事長は「地域の危機管理業としての役割を果たすために、官民一体となった担い手確保の取り組みが不可欠だ。今年は担い手確保に果敢に挑戦したい」と抱負を語った（写真）。

来賓の森田康夫九州地方整備局長は「履行期限の平準化に向け、24年度末にも『業務の適正執行のための勘所』を公表する予定だ。DX（デジタルトランスフォーメーション）推進や担い手育成なども引き続き意見交換しながら進めたい」と語り、協力を求めた。

生嶋亮介福岡県副知事は「防災・減災対策、単価・工期の適正化などに引き続き取り組んでいく」と述べた。